



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 豊田 剛志 TEL 0544-58-9080  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	22,264	31.7	478	—	469	—	235	—
2021年3月期第1四半期	16,909	△39.2	△1,083	—	△1,194	—	△1,352	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,878百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △1,974百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	12.31	—
2021年3月期第1四半期	△69.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2022年3月期第1四半期	75,582		34,595		45.8	
2021年3月期	74,536		32,911		44.2	

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 34,595百万円 2021年3月期 32,911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	24.0	4,100	218.2	3,800	127.6	2,600	—	135.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	19,410,000株	2021年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	290,157株	2021年3月期	289,889株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	19,119,974株	2021年3月期1Q	19,383,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内外の経済は、新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」という。）の感染拡大の影響については回復局面に移行しておりますが、一方で世界的な半導体供給不足による自動車的大幅減産が進行しております。7月以降も東南アジアを中心に新型コロナ感染が再拡大している地域があることに加え、依然として半導体供給不足の解消時期が見通せないことから、自動車業界の先行きは不透明な状況が続くものと思われれます。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に中国及び日本での新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により前年同期比31.7%増の22,264百万円となりました。損益面では、増収影響及び合理化効果等により営業利益は478百万円（前年同期は1,083百万円の営業損失）、経常利益は469百万円（前年同期は1,194百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は235百万円（前年同期は1,352百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 日本

国内の売上高は、半導体供給不足の影響はあるものの、新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により6,336百万円と前年同期に比べ1,398百万円（28.3%）の増収となりました。セグメント損失は737百万円（前年同期は1,251百万円のセグメント損失）となりました。半導体供給不足による直前での大幅減産により適切な生産体制の確保が困難であったことや、コンテナ不足による海上輸送費の高騰、市況変動に伴う樹脂原料の値上げ等により赤字となったものの、前年同期に対しては増収となったことや、工場での休業実施、諸経費抑制等により赤字幅を縮小しました。

## ② 北米

北米の売上高は、新車の立ち上がり等により8,646百万円と前年同期に比べ620百万円（7.7%）の増収となりました。セグメント利益は、増収影響に加え、コロナ禍において実施してきた業務の効率化等により343百万円と前年同期に比べ342百万円の増益（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

## ③ 中国

中国の売上高は、新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により6,370百万円と前年同期に比べ3,311百万円（108.3%）の増収となりました。セグメント利益は、増収影響等により795百万円と前年同期に比べ729百万円の増益（前年同期は66百万円のセグメント利益）となりました。

## ④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、前年同期の新型コロナ影響が限定的であったため910百万円と前年同期に比べ25百万円（2.8%）の微増となりました。セグメント利益は、コロナ禍において実施してきた業務の効率化等により145百万円（前年同期は9百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、75,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,045百万円増加しました。これは有形固定資産の増加1,517百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,412百万円、現金及び預金の増加483百万円及び受取手形及び売掛金の減少2,940百万円が主な要因であります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、40,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ638百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金の減少1,517百万円及び短期借入金の増加708百万円が主な要因であります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、34,595百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,684百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加1,669百万円が主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2021年5月13日に公表の業績予想値より変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,597	11,081
受取手形及び売掛金	16,707	13,767
製品	1,604	1,847
仕掛品	787	1,066
原材料及び貯蔵品	9,314	10,726
その他	1,314	1,345
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	40,323	39,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,249	10,594
機械装置及び運搬具(純額)	9,189	9,705
工具、器具及び備品(純額)	4,040	4,281
土地	3,724	3,761
その他(純額)	3,465	3,842
有形固定資産合計	30,668	32,185
無形固定資産		
特許権	187	156
その他	320	345
無形固定資産合計	507	501
投資その他の資産		
投資有価証券	2,069	2,034
繰延税金資産	354	315
その他	620	722
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,037	3,063
固定資産合計	34,213	35,751
資産合計	74,536	75,582

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,026	9,509
短期借入金	12,311	13,020
1年内返済予定の長期借入金	2,493	2,475
未払法人税等	377	292
賞与引当金	713	412
役員賞与引当金	38	9
製品保証引当金	72	84
その他	4,917	6,054
流動負債合計	31,951	31,857
固定負債		
長期借入金	5,782	5,299
繰延税金負債	194	133
退職給付に係る負債	2,801	2,787
役員株式給付引当金	26	35
製品保証引当金	91	98
その他	776	775
固定負債合計	9,673	9,129
負債合計	41,625	40,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	28,878	28,919
自己株式	△127	△127
株主資本合計	37,170	37,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624	594
為替換算調整勘定	△4,623	△2,954
退職給付に係る調整累計額	△260	△256
その他の包括利益累計額合計	△4,259	△2,616
純資産合計	32,911	34,595
負債純資産合計	74,536	75,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	16,909	22,264
売上原価	16,553	20,040
売上総利益	356	2,223
販売費及び一般管理費	1,439	1,744
営業利益又は営業損失(△)	△1,083	478
営業外収益		
受取利息	31	27
受取配当金	21	22
投資不動産賃貸料	16	16
持分法による投資利益	0	—
補助金収入	3	23
保険解約返戻金	53	—
その他	25	12
営業外収益合計	151	101
営業外費用		
支払利息	109	64
持分法による投資損失	—	0
為替差損	144	37
その他	8	8
営業外費用合計	262	111
経常利益又は経常損失(△)	△1,194	469
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,194	469
法人税等	158	233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,352	235
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,352	235

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,352	235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	△29
為替換算調整勘定	△713	1,669
退職給付に係る調整額	8	3
その他の包括利益合計	△622	1,642
四半期包括利益	△1,974	1,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,974	1,878



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響の終息時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	4,938	8,025	3,058	885	16,909
セグメント間の内部売上高 又は振替高	845	22	341	1,198	2,407
計	5,784	8,048	3,400	2,084	19,316
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△1,251	1	66	△9	△1,193

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,193
セグメント間取引消去	107
その他の調整	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,083

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	6,336	8,646	6,370	910	22,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,041	12	684	1,417	3,156
計	7,378	8,658	7,055	2,328	25,420
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△737	343	795	145	546

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	546
セグメント間取引消去	△68
その他の調整	0
四半期連結損益計算書の営業利益	478